

新商品のご紹介

エンジンオイル オートチェンジャー

EAC-81/82

- 1油種／2油種対応。高精度な計量機能で、抜き取りと同量のオイルを自動注入
- レベルゲージ部から廃油を抜き取るため、リフトのない場所でも作業可能



1油種

2油種

レーザークリーナー

Type100

- 金属やコンクリートなどの表面の汚れ、錆などをレーザー光によって除去
- 携行できるようアタッチメントケースにすべて入っているレーザークリーナー



錆びたねじ山にレーザークリーナーを施工

▲施工前

▲施工後

OBD検査専用スキャンツール スマートOBD

MaxiVCI V200



VCI-200

USBケーブル
付属



Windowsタブレット

コンパクトな
薄型10インチ

型式認定

型式試験番号

JASEA-KS-11

VCIとタブレットのみの
コンパクトな商品構成

- VCIとタブレット (Windows11) でOBD検査が可能
- OBD検査専用機とすることで実現したリーズナブルな価格
- 整備用スキャンツールと使い分けができ、効率的な検査業務の運営が可能
- それぞれ単品購入も可能

※ご利用にあたってはWi-Fi環境が必要です

OBD検査ツールご利用には事業者IDの取得が必要です。

OBD検査ポータル

検索

ANZEN 安全自動車株式会社
TEL03-5441-3412 FAX(03)5441-8848
ANZENホームページ <https://www.anzen.co.jp>

札幌支店 札幌市中央区南19条西8-2-21 TEL(011)511-6241(代)
釧路営業所 札幌市中央区南19条西8-2-21 TEL(0154)24-0161(代)
仙台支店 仙台市宮城野区日の出町2-2-8 TEL(019)637-8711(代)
盛岡営業所 戸田市氷川町2-8-31 TEL(019)637-8711(代)
関東支店 戸田市氷川町2-8-31 TEL(029)241-0932(代)
水戸営業所 新潟県新潟市東区2-1-13 TEL(025)274-7131(代)
新潟営業所 東京都港区芝浦4-16-25 TEL(043)284-2600(代)
東京支店 千歳営業所 名古屋市東区金山5-12-3 TEL(076)248-0499(代)
名古屋支店 金沢営業所 大津市西淀川区御幣島2-1-14 TEL(076)248-0499(代)
大阪支店 神戸営業所 大阪府大阪市東淀川区津3-7-7 TEL(078)265-0375(代)
広島営業所 福岡支店 福岡市東区多良の津3-7-7 TEL(082)832-3630(代)
福岡支店 南九州営業所 南九州市中津1-1-1 TEL(099)213-0762(代)
(株)松本安全 松本市大村383-11 TEL(0263)45-2181(代)

保守点検のおすすめ ANZEN製品を長くご活用いただくため、保守点検サービス(有料)のご利用をおすすめします。お近くの支店または営業所までお問い合わせください。

ANZEN カスタマーサービス 0120-01-6361

当社の製品およびサービス、その他に関するお問い合わせは左記へ。(受付時間:月~金 AM9:00~PM5:00)

ANZEN で 検索
<https://www.anzen.co.jp>

- 発行所/安全自動車株式会社 営業企画部 販促企画グループ 東京都港区芝浦4-16-25
- ANZEN NEWS CHARGE 101号 (2023年10月発行)
- ※外観・仕様は予告なく変更することがありますので、ご了承ください。

最新の業界情報をお届け! >>>
ANZENメルマガ会員募集中
詳しくは ANZEN ニュース で 検索



UD FONT

自動車整備の最新がわかる ANZEN NEWS



CHARGE



新商品のご紹介 P.08

エンジンオイル
オートチェンジャー

レーザークリーナー

OBD検査専用スキャンツール
スマートOBD

2023
Autumn
VOL.
101

USER REPORT

福岡トヨペット株式会社
西新店

小型 P.02

最新アフターサービス用冊子

整備機器メンテナンス
ガイドブックを
徹底解剖! P.06



USER REPORT

茨城いすゞ自動車株式会社
坂東サービスセンター

大型 P.04

TOPICS

OBD車検のプレ運用がスタート
検査用スキャンツールやアプリの操作などを習得する準備期間に!

2023年(令和5年)10月よりプレ運用が開始され、2024年(令和6年)10月から本格運用がスタートするOBD車検。プレ運用は1年間にわたって行われますが、早期にオペレーションを確立し、サービス品質を向上させるためにOBD車検に臨む体制づくりと設備などの準備を整えておくことが望ましいです。

OBD車検導入スケジュール				出典: 独立行政法人 自動車技術総合機構			
		2023 年 (令和 5 年)		2024 年 (令和 6 年)		2025 年 (令和 7 年)	
		4 月	10 月	4 月	10 月	4 月	10 月
OBD 検査業務	国産車	2023.10.1 プレ運用		2024.10.1 本格運用			
	輸入車	2023.10.1 プレ運用				2025.10.1 本格運用	

プレ運用は検査用スキャンツールの操作方法やOBD車検システムとの通信テスト、さらにはOBD車検におけるオペレーションの流れなどを試し、習熟する機会になるだけでなく、OBD車検における情報セキュリティなどのリスクを検証する重要なテストの場です。プレ運用期間中にできる機能は ①車検証の読み取りと車両情報の入力 ②OBD検査対象車が否かの判定 ③OBD検査の実施と合否判定です。なお、③についてはOBD検査対象外の車両でも模擬用としての検査が可能となり公開されています。OBD検査のポータルサイトも開設されており、早い段階での事業所IDや工員の登録が推奨されています。

事業者IDの取得・OBD検査に関しては OBD検査ポータル

OBD車検実施までの事前準備

出典: 独立行政法人 自動車技術総合機構





福岡トヨペット株式会社 西新店

次世代車の整備に備え、安全性・作業環境を最優先に サステナブルな設備投資を展開



店舗情報

福岡トヨペット株式会社 西新店
福岡県福岡市中央区地行2-2-10
TEL：092-761-8700
従業員数：19名（メカニック7名）

今回お話を伺った方



サービス技術部
技術グループ
リーダー
上橋 史明 様



西新店
サービスマネージャー
宮島 寛 様

福岡トヨペット株式会社西新店は従来の店舗を移転・新築し、8月1日（火）にオープンしました。1階にサービス工場を設け、2階にはガラスファサードのショールームを構えた次世代型店舗は、福岡市内でも人気エリアとして特に注目を集める西新地区で多様なカーライフを提案する新たな拠点としての役割を担っています。

サービス工場のコンセプトは将来の増加が見込まれる次世代自動車の整備とサービスエンジニアの働きやすさを高める環境づくりに力点が置かれました。トヨタの次世代自動車は多様なドライブトレインの可能性を追求した開発を行っており、中でもFCVやEVは今後ラインナップを拡充する見通しであることから、西新店のサービス工場は次世代自動車の整備が円滑に進められるよう設計されました。例えば、アヴェンタスリフトは3段スライド式アームを標準装備することで、車両下部の開放面積が大きいので、キャビン床下にレイアウトされる駆動用バッテリーを下ろす作業に最適であるとのことから4ストールで採用しています。リフト昇降時には音と回転灯の回転による聴覚と視覚で作業者に注意を促す機能を備えました。サービスエンジニアの安全を最大限に考慮した工場づくりが施されています。

検査員・メカニックに寄り添う「ラインマスター」

検査システム「ラインマスター」の採用についてもサービスエンジニアの働きやすさとコンプライアンスの両面から検討されました。同店の場合、電子保適証作成システム「スマート継続OSSシステム」との連携を図ることで、検査結果の自動入力化を実現。コンプライアンスと業務効率化を図っています。同社技術グループの上橋史明リーダーは「指定整備業務のコンプライア

ンス強化に伴う検査員の精神的負担と残業などの負荷を少しでも軽くしてあげたいという思いがありました。コンプライアンス強化、業務の効率化が図られるとともに、お客様をはじめ、行政からの信頼も高まりました」との導入効果を実感されています。サービスエンジニアの負荷はインシデントが生じる可能性をはらんでいるため、その要因の除去は安全性にも深く関わる重要な要素です。検査員・サービスエンジニアの気持ちに寄り添う設備投資が同店のサービス品質を高めています。

設備の選択と投資は人材への投資

作業場の環境改善では排気設備も従来とは異なるチャレンジな設備投資となりました。多くの整備事業者が採用する排気ダクトはホースの取り付けが手間になりますが、同店では床に埋設する排気シャッタータイプを採用することで、サービスエンジニアが手軽にシャッターを開閉し、使用できるタイプを導入しています。

この他、西新店のサービス部門で評価が高いのが門型洗車機「NewT-X」です。従来店では門洗が未設置だったこともあり、洗車を自動化することで、作業負担の軽減、作業時間の有効化に貢献しています。また「NewT-X」の高い静粛性は近隣への騒音対策で成果をあげているようです。

今、設備投資は設備そのものではなく人に向けた投資に軸足が移りつつあります。人材が安全に働きやすくなるためのツールが、結果的に社員を幸せにするとともに、地域やお客様から支持され、サービスに還元されます。福岡トヨペット株式会社が進める人材づくりと店舗づくりは同社のスローガンであるお客様との両想いをさらに強固にさせていくでしょう。

図面でわかる！ ここがポイント！

変わり続ける自動車の整備に対応するための機器選定

営業担当者のココがポイント！

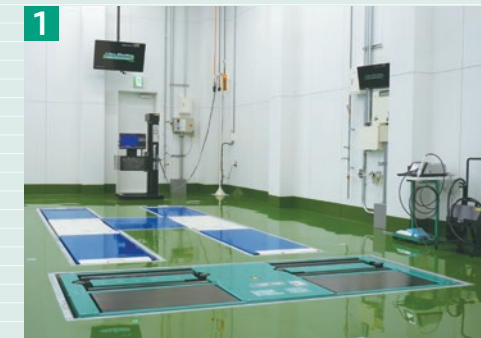
コロナ禍の影響もあって、工事の打ち合わせはメールやオンラインでのやり取りが多くなり、ご要望を反映できているか不安もありました。完成後に仕上がりを見ていただいた時に「お任せして良かった、とあたたかいお言葉をいただき、本当に嬉しかったです。今後は店舗に足を運び、引き続きサポートしてまいります。



左：技術グループリーダー 上橋様
中央：サービスマネージャー 宮島様
右：福岡支店 工藤



▲マルチリフト(左)とアヴェンタスリフト(中央・右)検査ラインを含めて全6ストールを配備



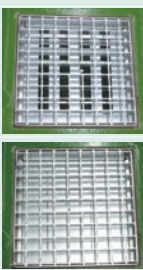
▲ハイブリッドテスターと簡易フリーローラーの検査ライン。検査システムはラインマスターを採用



▲リフトは昇降時に音と回転灯による注意喚起を行う安全設計



▲床に埋設した排気設備。シャッターの開閉で排気ガスを吸引



▲タイヤリフターにブレーキ付特注品



▲左足でペダルを踏み圧送することで1人でもエア抜きが可能



▲門型洗車機 NewT-X(左)と拭き上げストール(右)



▲冷暖房を完備し、あらゆる安全対策を施したES重視のサービスショップ



▲2Fショールームではお子様を見守りながら商談が可能



このページに掲載している機器のカタログをご覧ください



茨城いすゞ自動車株式会社 坂東サービスセンター

安全性やESの向上、環境保護にも最大限配慮した最新鋭の大規模大型整備工場



店舗情報

茨城いすゞ自動車株式会社
坂東サービスセンター
茨城県坂東市香掛1926-2
TEL：0297-33-9976
従業員数：37名(メカニック17名)

今回お話を伺った方



第三事業部
坂東サービスセンター
センター長
寺田 洵 様

竣工式にて撮影



左：安全自動車株式会社 代表取締役社長 中谷
中央：茨城いすゞ自動車株式会社 代表取締役会長 兼 社長 香崎 繁 様
右：水戸営業所 所長 石川

茨城いすゞ自動車株式会社 坂東サービスセンターは2023年7月3日、首都圏中央連絡自動車道(圏央道)坂東インターチェンジの近隣という好立地に新規オープンしました。

坂東サービスセンターがある茨城県西エリアは、埼玉県および栃木県との県境に近い「茨城県外からの飛び込みが多い」(寺田センター長)うえ、2017年2月に坂東ICを含む圏央道茨城区間が全線開通して以来、主に物流拠点として沿線地域の発展が著しい地域でもあります。

坂東サービスセンターは、茨城いすゞ自動車が掲げる「7つのこだわり」=「目的志向」「プロ意識」「ステップアップ」「行動」「たのしみ」「協和」「誠実」と、近隣環境や従業員・経営陣の心身、そして経営そのものの健全性を維持する「健康経営」を実現すべく、作業効率はもちろん安全性やES(従業員満足)の向上、環境保護にも最大限配慮した、最新鋭の大型車整備工場になりました。

大量の入庫台数に対応するため効率化を図る最新鋭の整備機器を導入

ストールごとにエリア空調や工具類が配置され、作業効率向上と管理責任の明確化が図られた整備ストールには、入庫・作業状況が一望できるスタジアムロッカーやシャワールームも完備する2階建ての「作戦会議室」が中央に設けられたほか、「4柱式ツインパワーリフト」2基、「2柱式ツインパワーリフト」4基、「中・小型2柱式ツインパワーリフト」7基、「2分割フロアリフト」2基が導入されています。

このうち「4柱式ツインパワーリフト」は、「4柱式を使うのは今回が初めてですが、トラクター&トレーラーを一度にリフトアップできるうえ、中・小型トラックなら2台同時に、1ストールで2ストール分の作業ができるので、作業場所確保の面で非常に有効活用できています」(寺田センター長)。さらに、車両をリフトアップしたまま立った姿勢で車軸からホイールを外せる「タッテラー」を配備。「ホイールハブのオーバーホールや3軸車のタイヤ交換をかがまずに行えるので作業しやすい」(寺田センター長)と好評です。

「2分割フロアリフト」は、「クイック整備よりエンジンオイル漏れやラジエーター交換などの重整備に便利で、車検の受入検査時の下回りチェックにも重宝している」と寺田センター長。

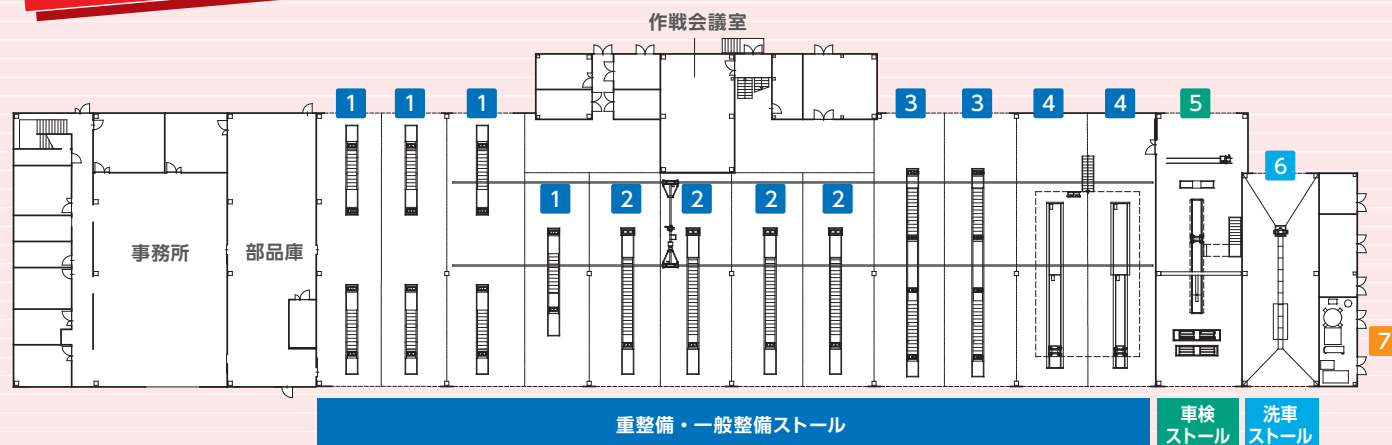
「2分割フロアリフト」の隣に配置された完成検査場には、ダンプトラックの入庫が多い地域特性に合わせつつ「検査員の負担を軽減するため」(寺田センター長)「荷重試験機」を新たに導入。「県内に導入工場が少ないため、将来的には他社銘柄も受け入れたい」との意向を寺田センター長はおっしゃいます。

また「ピット落下防止装置」や「スライド式ピット落下防止装置」を各ストールに備え、メカニックやお客様の転落事故防止に万全を期しています。

年間入庫台数8千台を見込みながら、すでに入庫が絶えずフル稼働の状態になっている坂東サービスセンター。同社を象徴する旗艦工場としての役割を今後も担うことでしょう。

図面でわかる！
ここがポイント！

同社が掲げる「7つのこだわり」「健康経営」を体現



- 1 中・小型2柱式ツインパワーリフト(12t)×7基
- 2 2柱式ツインパワーリフト(30t)×4基
- 3 4柱式ツインパワーリフト(60t)×2基
- 4 2分割フロアリフト×2基、電動ピットリフト×2基、スライド式ピット落下防止装置×2基
- 5 完成検査ライン(ラインマスター+カラー画像処理方式手動ヘッドライトテスター+BSテスター+サイドスリップテスター+フリーローラー)、荷重試験機×1基、車高測定装置×1基、車両画像取得装置×1基、ピット落下防止パネル×1基
- 6 洗車対応テストリフト×1基、高圧温水洗浄機×2基、洗車ホースレール×1基
- 7 排水処理装置×1基

営業担当者のココがポイント！

2分割フロアリフト2基は、地下ピットでつながっており様々な工具の収納スペースとしてだけでなく、ミッション等分解整備スペースとしても活用できます。今回、圏央道周りの建築ラッシュに伴い、建築工事が遅れた影響で短い期間での機器の設置工事となりましたが、皆様のご協力により工場オープンまで何とか形にできたこと、この場をかりて御礼申し上げます。今後もより安全・安心に機器を使用いただけるよう、アフターサービス含め最大限サポートをまいります。



左：センター長 寺田様
右：水戸営業所 所長 石川



▲▲エリア空調や工具類が個別に配置された整備ストール。中央の「作戦会議室」にはスタジアムロッカーやシャワールームも完備



▲「4柱式ツインパワーリフト」は1ストールで中・小型トラックを2台同時に整備できるなど省スペース化に大きく貢献



▲バックエリアで汚れを分解する排水処理装置を導入し、整備工場と洗車場から出る排水を再生。水質基準をクリア

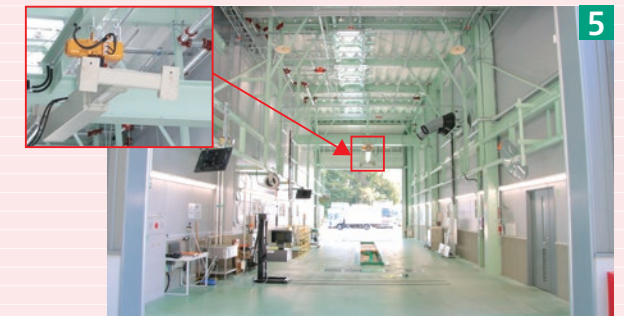


▲「2分割フロアリフト」は2基の地下ピットをつなげ、収納兼作業スペースとして有効活用



▲建設の際に伐採した木の一部を活用した、モダンで落ち着いた仕立ての社員食堂。テラスも備わっておりメカニックの憩いの場に

荷重試験機



▲完成検査場には「荷重試験機」のほか「車両画像取得装置」や「車高測定装置」も導入して検査員の負担を軽減



▲「洗車対応テストリフト」で、きめ細かな下回り洗浄を可能にした洗車場。長寿命化のため「洗車ホースレール」も導入



このページに掲載している機器のカatalogをご覧ください

整備機器メンテナンスガイドブックを徹底解剖！

こちらから
ご覧いただけます



こんなこと
になる前に！

整備機器が突然故障した！

業務停止

機器停止による
業務遅延や停止

事故発生

作業員の怪我
お客様車両の破損

修理費用増

突発的な修理による
急な出費

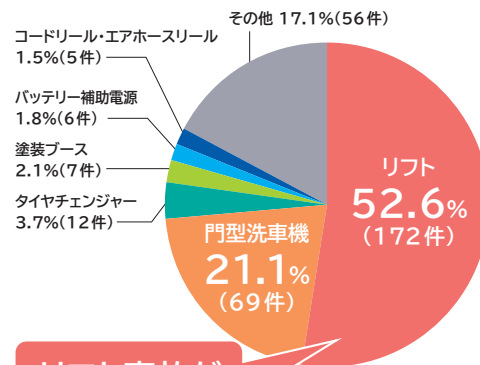
整備機器を長く、安全、安心に使用するためには
メンテナンスが重要！

ご存知ですか？

事故が多い整備機器とその原因

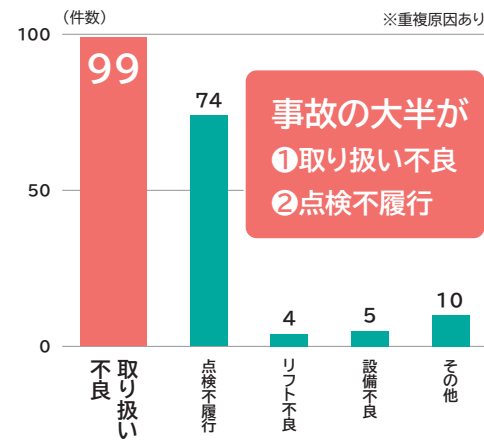
過去10年間(2013年～2022年)に発生した自動車整備機器による事故統計ではリフト事故が一番多く発生しています。
最も事故の多い、リフト事故の原因は【取り扱い不良】【点検不履行】によるものです

自動車整備機器による事故統計 (2013年～2022年)



リフト事故が
ダントツ！

リフト事故原因の累計 (2013年～2022年)



※重複原因あり
出典：一般社団法人 日本自動車機械工具協会

「この程度は大丈夫」の判断が事故や業務停止に繋がります

正しい取り扱い

日常点検・定期点検

整備作業時の事故を防止しましょう



メンテナンスガイドブックでは、
整備機器各種の点検ポイントを分かりやすく掲載しています

リフト（乗用車・大型車）

リフトの故障が発生しやすい箇所と点検ポイントを確認しましょう。

受台ゴムの劣化



- 受台ゴムに割れや変形がないか
- 鉄板がむき出しの状態ではないか

車両が正しくセットできず、
車両落下の原因になります。

不具合を発見したら交換しましょう。

チェーンの固着



- 錆が発生していないか
- 固着していないか

チェーンが破断し、
車両落下の原因になります。

定期的に清掃や給油を行います。

交換目安 (メーカー 推奨)	通常仕様 4年に1回	洗車仕様 2年に1回
----------------------	---------------	---------------

車検機器

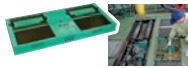
車検機器の故障は精度に繋がります。使用前に点検を行います。

ヘッドライトテスター



- 水準器の気泡は円の中心にあるか
- フレネルレンズに汚れがないか
- 車輪やレールに小石や泥汚れがないか

サイドスリップテスター/BSテスター



- 鉄板・ローラーに汚れやガタがないか
- エア漏れの「シュー」音はしないか

排気ガス測定器/オキシメーター



- フィルターに汚れがないか
- プローブに破損はないか
- レンズに汚れがないか(オキシメーターのみ)

プローブの長さや形状を変えては
いけません。
校正時に不適合となります。

洗浄機器

洗浄機器の故障が発生しやすい箇所と点検ポイントを確認しましょう。

水漏れ



門型洗車機

- ポンプから水漏れがないか
- 洗浄ホース・洗浄ガンの破損・
水漏れがないか
- 圧力が低下していないか

漏電や感電の原因になります。
また、水漏れにより正しい圧力で
の洗車ができなくなるだけでなく
水道料金にも影響があります。

洗浄ブラシ



門型洗車機

- ブラシが正常に動作しているか
- ブラシに汚れがないか

車両に傷がつく原因となります。

エアコンプレッサー

エアコンプレッサーが故障すると、ほとんどの整備機器が使用できなくなります。

水抜き

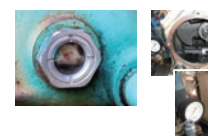


- タンクから水を抜いているか

水が溜まるとタンク内に錆が発生
します。また溜められるエアの量が
減ってしまいます。

タンクに水が溜まると故障に繋がります。
エアツール内に水が入り錆つき・故障
タンクが錆により破損

オイル交換



- 規定量入っているか
- 汚れ・白濁はないか

オイル交換不足により
圧縮機の破損につながります。

オイルはエアコンプレッサー専用のオイルを使用してください。
専用オイル以外での使用は故障の原因となります。

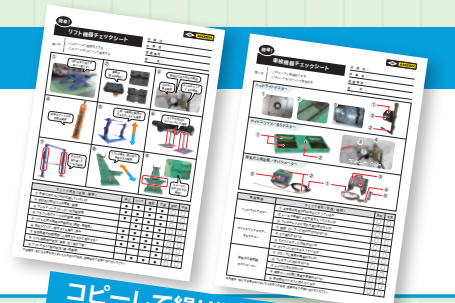
お客様ご自身による日常点検を！

付属の**整備機器チェックシート**を使って、始業前に点検を行います

★目視や聴感で確認できる簡易的な点検項目を記載。

機器の状態が良好か不良か、確認できるようになっています

★チェックシートはリフト機器、車検機器、洗浄機器、エアコンプレッサーの4種類ございます



コピーして繰り返し使えます！



安全自動車では整備機器講習会を開催しています
メンテナンスを自社で行っていただくためのポイントを
座学・実機を交えて分かりやすくご説明いたします
講習会をご希望のお客様は、お近くの支店または営業所までお問い合わせください

整備機器の管理意識を高めるためにも、メンテ ナンスガイドブックをぜひご活用ください！